



短命県返上を見据え、地域の健康づくりに向けた活動について自由に意見を交わす参加者

## 弘前市と弘大ワークショップ

# 短命県返上へ意見交換

弘前市との合同による弘前大学COI第3回対話型ワークショップが24日、同市の市民文化交流館ホール（ヒロロ4階）で開かれ、参加した約50人が地域における生活習慣の改善を通じた健康づくりなど、短命県返上に向けて意見を交わした。

弘大と市の連携事業の一環として開き、弘大教職員や市職員、食生活改善推進員、ひろさき健康増進リーダーらが参加した。

なことについて、5グループに分かれて自由に意見を発表した。

参加者からは「健診を義務化しては」「禁酒の日の設定」「減塩コンテストの開催」「喫煙室の有料化」「歩数計の支給を行ってみては」「冬の運動を推進すべき」などのアイデアが出され、5年先を見据えた健康づくりに向け、意識を高めた。

ワークショップでは「5年先を見据えた弘前市の健康づくり！」をテーマに、地域でやりたい健康づくりの活動や健康的な街に必要な

(山本恵子)